

19m02教育方法論m

班別討議



全体発表（近代学校制度と授業の成立）



全体発表

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (近代学校制度と授業の成立)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (海外の学校制度や授業を取り入れている)

- ・ 個別授業から一斉授業へ.
- ・ いろいろな授業が行われるように.
- ・

■肯定的 web (文部科学省)

まとめ ()

- ・ 科目として今までにないものを入れた
- ・ 個人より全ての人が.
- ・
- ・
- ・

■否定的 web (文部科学省 など)

まとめ ()

- ・ 従来の学制ではお金をとって不満が出た
- ・ 教育を通い愛国心を持たせようとした
- ・ 校区を分けたのか、すでに学校が配置されたわけでは無い.

■班としての要約

まとめ (メリットデメリットがあるも海外の)

- ・ ヴェリットを取り入れている
- ・ 日本が教育面で他国に遅れていること
- ・ 分かっていたのでは.
- ・ 意外に幕府時代でも教育が行われていた

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- | | | | |
|--------|---------|---|---|
| ・ 寺子屋. | ・ 授業 | ・ | ・ |
| ・ 学制. | ・ 科目. | ・ | ・ |
| ・ 3R's | ・ 個別 | ・ | ・ |
| ・ メリット | ・ 一斉. | ・ | ・ |
| ・ 学校 | ・ 江戸時代. | ・ | ・ |

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (近代学校制度と授業) 成立

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (明治で大きく変革があった)

- ・ 明治時代にこのように
- ・ 明治維新以前は寺子屋で、西洋の価値感をとり入れて、教育課程を作った。

西洋式教育方法

補足的部分を個別に

個別 → 各

3P's (読み、書き、計算)

■肯定的 web ()

まとめ ()

- ・ 明治5年に学制の公布
- ・ フランスの制度をモデルにした

寺子屋は私塾で、当時の世界では

非常に高度な教育であった。

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・
- ・
- ・

■班としての要約

まとめ (明治時代を境に改革があった)

- ・ 西洋式教育方法としてフランスの制度をモデルにした学制を導入。
- ・ 開国をきっかけに、教育改革がスタートした。

キーワード	10~20語	明日中に	概念系統図
・ 西洋式教育法	・ 学制	・ 西洋	・
・ 個別指導	・ 明治維新	・	・
・ 集団	・ 開国	・	・
・ 3P's	・ フランス	・	・
・ 寺子屋	・ 小学	・	・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

全体発表(授業の定型化)



教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (授業の定型化)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (1890年に教育勅語が読解され、1902年に施行90%)

- ・近代教育制度では学校教育の二重構造が基幹的根拠となる。
- ・森有礼の師範学校運営の特色には順良・信愛・威重がある。
- ・学年学級制は協同の精神を養成できるという点で理にかなった。

■肯定的 web ()

まとめ ()

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・
- ・
- ・

■班としての要約

まとめ ()

- ・
- ・
- ・

キーワード 10~20 語

- ・教育勅語
- ・学年
- ・特色
- ・軍隊化
- ・家族制的
- ・就学率
- ・二重構造
- ・順良
- ・学年学級制
- ・協調

明日中に 概念系統図

- ・近代教育制度・教育
- ・森有礼
- ・信愛
- ・師範相互
- ・精神
- ・師範学校
- ・威重
- ・関係性
- ・養成

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (授業の定型化)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (定型化の流れ)

- ・「教育ニ関スル勅語」の発布で教育の基本理念と実践徳目が示される (1890年)
- ・固定教科書制度で国民共通の文化と道徳を徹底 (1889年)
- ・ヘルバート主義教育学の導入
- ・学年制・学級 「学級編成ニ関スル規則」

■肯定的 web ()

まとめ ()

- ・
- ・
- ・
- ・

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・
- ・
- ・

■班としての要約

まとめ (今の教育いつながっている)

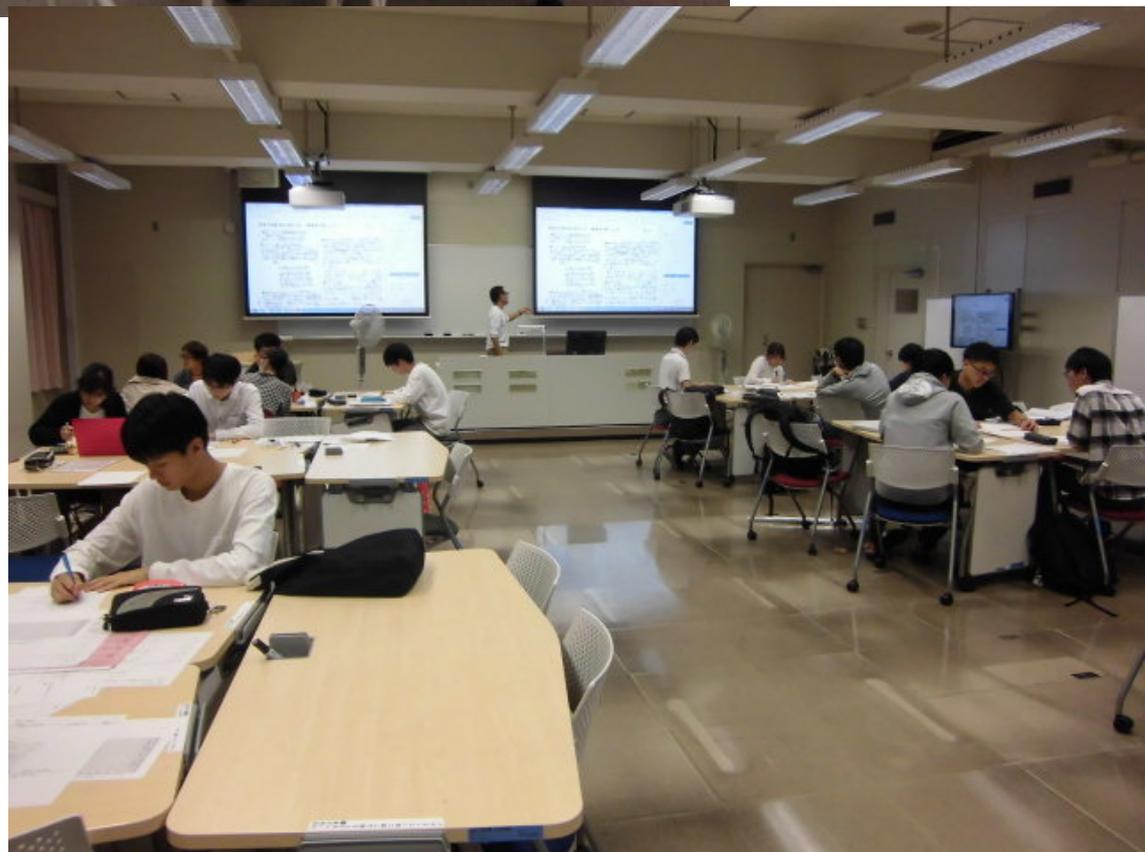
- ・教育の始まりは「教育ニ関スル勅語」
- ・学年制・学級の制度で今の学校
- ・カリキュラム化することによって授業を安定化

キーワード 10~20語 明日中に 概念系統図

- ・ 憲法
- ・ ヘルバート
- ・ 等級制
- ・ 教育ニ関スル勅語
- ・ カリキュラム
- ・ 方法的單元
- ・ 固定教科書制度
- ・ 学級
- ・ 5段階教授法
- ・ 三資質
- ・ 学年制

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感想を述べよ

全体発表(授業改造の試み)



教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (授業改造の試み)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (考えかたの立場・役割の理解)

- ・ 主義的教育法への批判 → 子どもの個性・自覚性の尊重
- ・ 私立小学校ではユニークな実践, 公立では個性に応じた英語をテーマに実践展開
- ・ 分国試働的教育法から人生の孝養を教育へ

■肯定的 web (学習指導要領解説)

まとめ ()

- ・ 生徒の育成を目指す・能力の指導の狙いを明確化
- ・ 学校と地域の連携で文化に解決合う
- ・ 受動的 → 主体的に変化させ、歴史的に育む

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■否定的 web (問題解決の授業をデザインしよう)

まとめ ()

- ・ 単に知識を増やだけではダメ
- ・ 生徒自身が自然・社会から物事・現象を認識
- ・ 生徒・教師・教材のつながり成り立って成り立
- ・ 教育も問題解決と実践すべき

■班としての要約

まとめ ()

- ・ 生徒にマッチングした授業へ実践・改善すべき
- ・ ICTなどでは生徒の能力を高められる
- ・ 生徒の個性を引出す授業を教師が考えていくべき

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・ 個性	・ 自覚性	・ 実践	・ 生徒
・ 自覚	・ 能力	・ 指導	・ 研究
・ 地域	・ 学校	・ 文化	・ 改善
・ 知識	・ 認識	・ 生徒	・ 教師
・ 教材	・ 受動的	・ 主体的	・

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (授業改造の試み)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (世界大戦後から変わっていた。昔の教育法では、座学を中心にしていた。今は、社会改革等によって、様々な教育法が導入された。これを保護者と教育者と生徒の関係の

- ・ 行動的学習活動
- ・ 観察的学習活動
- ・ 創造的学習活動
- ・ 情報機器の利用

■肯定的 web (座学の良い点、座学以外の点)

まとめ (座学は抵抗なく受け入れられ、座学以外でも座学では学生にあまり抵抗なく受け入れられる。教師の伝えたい事をはきりと伝えている。予習や復習がしやすい。座学以外でも人間関係を深めていたりするのには座学以外でも脳を活発にさせている。何かを得るよう努力することを教育者のには良い。

話しにくいように、次回の発表以降は意識したいと思いました。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■否定的 web (座学の悪い点、座学以外の悪い点)
 まとめ (座学も座学以外でも教育に対する好む点。昔は、座学を中心に様々な事を伝えているが多かったが、情報機器等が発達した反面、見受けられた。それを見せ、学んだと認識してしまう。

座学以外で人間関係が作れるという反面、人間関係を壊してしまう可能性もなり得ない。

座学では受け身になっているということが否めず、教師と生徒との間での関係が分かりにくく、一斉に同じように学ぶことが難しい。

■班としての要約

まとめ (時代の流れに沿って教育法は変わっている。生徒と教師とのコミュニケーションが大切になり、カリキュラムも立派になった。社会改革によって、環境が悪化した事もあり、教育法も変わっていったと考えられる。人間関係と、学習を両立するのが学校教育であるので、座学と座学以外を上手に使い分ける必要がある。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- ・ 座学
- ・ 時代
- ・ 学校現場
- ・ 両立
- ・ 行動的学習
- ・ 世界大戦後
- ・ 乱れ
- ・ 観察的学習
- ・ 社会改革
- ・ 受け身
- ・ 創造的学習
- ・ 環境
- ・ わがたつち
- ・ 情報機器
- ・ 人間関係
- ・ 環境悪化

全体発表 (ICT活用例)



教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 2 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (ICT 活用例)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

- ・
- ・
- ・

■肯定的 web (ICT を活用するのは効果的)

「主体的・対話的で深い学び」のプロセス
 まとめ (ICT 活用とアクティブラーニングの視点を)
 取り入れる授業づくり (岡山大学)

- ・ 図形指導で GeoGebra を活用
- ・ 統計



主体的に図形操作、

データを整理し、分布の比較が可能
 (箱いげ図)

(岡山大:

■否定的 web (算数・数学教育と ICT の不適合性)

まとめ (算数・数学への ICT 機器導入の問題点)

- ・ ICT を使うことで、ショートカットしてしまう

大切な部分



「本感」しなから学習できない

■班としての要約

まとめ (ICT 活用には X/Y にも Z/W にもめる)

- ・ どちらかに偏るとは効果的でない。
- ・ アクティブラーニングをすることで ICT はかなり効果的。
- ・ 図形や統計で ICT 活用するのがよい

自分が実際に手を動かして考える作業の邪魔

にはよってはいけない。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- | | | | |
|-------|------------|-------|--------------|
| ・ ICT | ・ Geogebra | ・ 図形 | ・ 統計 |
| ・ データ | ・ 本感 | ・ 主体的 | ・ アクティブラーニング |
| ・ 分布 | ・ 比較 | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (細胞の観察)

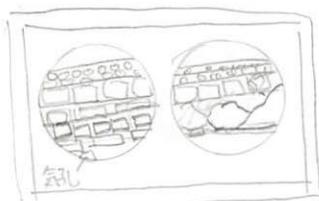
■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

中2・生物分野 植物の体のつくりと
はたらく

根・茎・葉の観察
細胞

■目標、内容・指導の概略等

- フレパラートの作成, 顕微鏡の扱いに触れる.
- 植物の細胞のつくりを学ぶ.



◦ 各班の対象物を撮映する
↓
電子黒板にて共有
↓
観察・考察・説明

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

- ① 教科書, 顕微鏡, フレパレート, スライドガラス
オナモミ, タブレット, 電子黒板
- ② 撮映端末と接続した電子黒板の映像に書き込み
- ③ フレパラートのでき ④ 細胞壁が観察できる
- 討論への参加態度
- 確認問題のでき ◦ 点数

■工夫した点、出典等

- |時間のうちに、観察と考察と説明ができればいい
- リアルタイム!
- 経験として、知識を身に付けることができる
→ 興味、関心へとつながる?
→ 身近な事象としてとらえられる.
- 多数のサンプルを目にできるようにした
- スケッチを省くことによる時短

4*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に用いたものを3つ取

全体発表(確認問題1)



各班ワークシート (確認問題まとめ)

1) (班内) まとめ
各問のポイント

■問 1

近代の国家

■問 2

- ① 格差
- ② 11じゆ
- ③ 心と生活
- ④ 自己肯定感
- ⑤ 障害児教育

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと
思ったことをのべよ。

■問 3

- ・ 学かて集団発達^{発達}の保障
- ・ 教育と生活の結合
- ・ 教育と科学の結合

- ① どんな人でも学かて集団の中での生き方を学んで
自己肯定感や自治形成をめざす
- ② 昔は土土或ぐりみで教育していたが、今は学校
だけで教育しようとしていて、これが形骸変化に
つな^{つな}がった
- ③ 公共社会を生きるために必要とせよ科学や文化
とは何かをめぐり論点や課題を教育方法の学^学に
向^向いかける

■問 4

- ロマンチズム
- ヒューマンイズム
- リアリズム

ロマンチズム… 現実の教育問題に直面し
それを解決しようとする意欲^{意欲}
展望

2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り
組む時間や、問題内容と発表班との関係などにつ

